

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



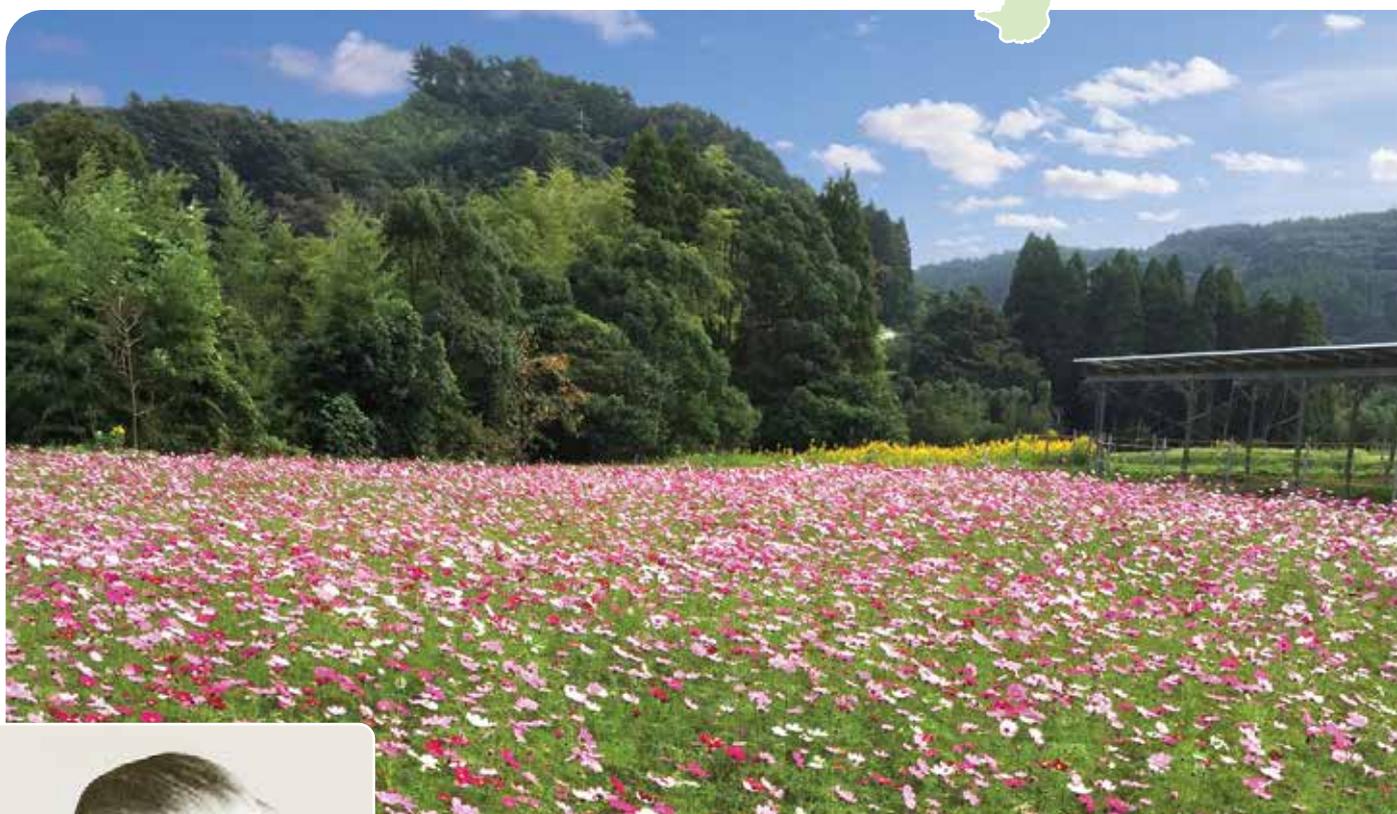
ガバナー月信
Vol. 5

2020
November

11

Copy for members

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



稲刈り後の田んぼにコスモスの絨毯、抜けるような秋空、実り多き勝浦の在所ならでは。

日本のロータリー 100 周年

手島 知健 (1885 ~ 1968)

1952 - 54 年度 R I 理事 (日本人で 3 人目)。東京 RC 会員。1949 年、東京 RC が戦後国際ロータリーに復帰したときの、1949 - 51 年度第 60 区 (当時は日本全土で 1 地区を形成) のガバナー。あふれる国際性と洗練された物腰をもつ彼は、戦後、日本ロータリーが再出発したときの、大きなけん引役となりました。かつて、R I の日本語翻訳決定権は彼に委譲されており、「四つのテスト (The Four-Way Test)」の翻訳をとりまとめ、定訳をつけたことでも知られています。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間/ロータリー財団月間



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリー財団月間によせて



国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦 RC)

ントでスタートした財団は、1947 年ポール・ハリス氏逝去の際の遺言「私への献花ではなく財団へ寄付を」をきっかけに一気に基金を増やし、今日まで何百万という人のために人道的支援を行ってきました。

物心両面でのサポート

ただお金を寄付するのであれば、UNICEF やその他多くの受け皿となる団体への寄付でも良いでしょう。ロータリー財団へ寄付をすることは、ポリオ根絶活動をはじめ私達の手の及ばない地域への援助となるばかりでなく、クラブで地区補助金やグローバル補助金を申請してプロジェクトを立案実践し、私達が現場に出向き見届けながら、その地域の人々の心に寄り添うことを体感できるのです。また補助金による派遣奨学生やロータリー平和フェローに対しても、奨学金を授与するだけでなく、現地のロータリアンやカウンセラーとの交流を通じて、将来世界平和の構築に貢献するための奨学生を支えています。財団への寄付は、正に物心両面でのサポートと言えるでしょう。

寄付目標へのご理解を

先月の月信にて、財団資金管理・寄付推進小委員会の北村謙介委員長からもコメントがございましたが、当地区の年次基金寄付総額は、関東エリアの 10 地区において、例年ほぼ最下位です。ここ数年の当地区年次基金寄付目標額は、お一人当たり 150.00 ドル以上ですが、過去 4 年間それを下回っている結果です。ポリオ根絶や世界の平和のため、或いはそれらを実践出来るような人材育成のための、地区が設定しました目標額のご寄付を、改めてお願い申し上げます。コロナ禍の中、会員の皆様におかれましては、寄付どころではないと仰る方もいらっしゃるでしょう。可能な範囲での皆様からのご協力により、関東エリア最下位からの脱却も程なく訪れると信じております。寄付は、「第二の奉仕」です。

私のロータリーモーメント

毎日午後 3 時を過ぎると、コロナウイルス感染者数のニュースをチェックし、その数字に一喜一憂する日々が未だ続いておりますが、そんな中、多くの地区内クラブの皆様が、オンライン開催を含め、公式訪問例会を実施して下さることに感謝申し上げます。

公式訪問でのクラブ協議会では、今年は特に私の希望で、クラブの代表会員から「私のロータリーモーメント」を語っていただいております。これは、ロータリーに入会して体験した様々な出来事の中で、心に残ったエピソードをお話いただくものです。私にとってのロータリーモーメント No.1 は、所属クラブでグローバル補助金を利用し、スリランカの劣悪な井戸水を利用している村や学校に、浄水設備を寄贈したプロジェクトに起因します。ある小さな村での竣工式で、その日のための晴れ着を着た子ども達（でも靴はありません、裸足です）が、新しい浄水器を通して蛇口からの水を嬉しそうに飲む笑顔を見届けたその瞬間が、ロータリー活動を続けてきて本当に良かったと思った時でした。

RI のロータリー財団の成長

1905 年にたった 4 名でスタートしたロータリーが、120 万弱の会員組織になることを、創設者ポール・ハリス氏は予想していませんでした。そして 1917 年に当時の RI 会長アーチ・クラフ氏が、「世界でよいことをする」ために、僅か 26 ドル 50 セ



未知の領域への挑戦

2020-21 年度グローバル補助金奨学生

關 まり子

推薦：千葉ロータリークラブ

グローバル補助金奨学生として、重点分野「母子の健康」を選び、9月末からイギリス・ロンドンにある University College London (UCL) 大学院に1年間留学することになりました。MS c Women's Health というコースで、「避妊」に関する問題について研究をする予定です。

はじめに、ロータリーの推薦を受けて「Women's Health (女性の健康)」という、ロータリーの重点分野「母子の健康」に深く関係するテーマを学ぶ機会に恵まれたことは、この上ない喜びです。この機会を与えて下さった国際ロータリー第2790地区の皆さま、推薦クラブである千葉ロータリークラブの皆さまに、心より感謝申し上げます。

私は今年3月に東京外国語大学を卒業しました。そこでの専門は2つ。

一つは、専攻語として学んだペルシア語です。ペルシア語はイランを中心に話される言語です。これを専攻語に選んだ理由は、日本語メディアではあまり伝えられない、この地域に住む人々の暮らしや社会のありのままの姿を知りたいと思ったから。大学入学前の私は「イラン人女性は抑圧されている」というイメージを持っていました。しかし、イランについてのあるドキュメンタリーのなかで、IT企業で働く女性や、優秀な成績を修め、日本への留学を控える女子大学生の姿が映し出されたのを見た時、そのイメージは覆されました。そして、「自分の知らないイラン社会の側面を知りたい」と思い、そのためにはペルシア語を学び、現地から発信される情報を得るのが一番だと考えたのです。

もう一つの専門分野はジェンダー学です。ジェンダー学は取り扱うテーマの幅が広いです。フェミニズム、セクシュアルマイノリティの権利、性犯罪など…。私は特に、リプロダクティブヘルス&ライツ(性と生殖の健康と権利)の一環としての「避妊の権利」に関心を寄せ、「日本における若者への避妊に関する情報提供は十分であるか?」というタイトルで卒業論文を書きました。日本の若者が直面する避妊をめ

ぐる状況をイギリスと比較し、その問題点を指摘する内容です。この論文を執筆するきっかけになったのが、大学3年次のロンドンへの留学経験でした。

2018年8月から約10ヶ月間、ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(SOAS)に留学しました。その目的は卒論の資料集め。当初、私はイランの女子教育をテーマに卒論を書くつもりでした。SOASはアジア・アフリカの地域研究の権威であり、かつジェンダー学部が設置されているため、このテーマに関する資料を集めるのに最適だと考えたのです。

しかし、留学中に卒論のテーマ自体を大きく変更し、日本の避妊に関する問題を扱うことに決めました。イギリスには、日本では未認可の、より効果の高い避妊法が数多く存在し、しかもそれらが無料で提供されていることを知り、日本の避妊をめぐる状況の後進性に気付いたことがその理由です。

今回の大学院留学で Women's Health という分野を選んだのも、その延長と言えます。日本の女性が効果の高い避妊法に容易にアクセスできる社会を作りたい。日本にとどまらず、世界中の女性が安全に避妊・妊娠・出産・子育てのできる世界を実現したい。その思いから、今回の留学を決意しました。

MS c Women's Health というコースは女性の健康にかかわる問題に、生物学の視点からだけではなく、社会的・文化的・民俗的な側面からアプローチしていきます。ですから、理系分野とは一線を画す社会学で学士を修めた私でも、このコースを選択できたのです。とはいえ、理系要素も含まれる学問領域に足を踏み入れることになるとは、数年前の自分は想像すらしていなかったでしょう。今回の留学は単に海外の大学院で学ぶというだけではなく、未知の分野で学びを深めるという意味で、自分にとって挑戦です。いま抱いている留学への情熱を忘れず、精進してまいります。



ロータリーという名の船

2020-21 年度グローバル補助金奨学生

西崎 雅人

推薦：柏東ロータリークラブ

ロータリーという名の船から見た景色は新鮮で刺激に満ち溢れていました。

初めまして。西崎雅人と申します。この度、グローバル補助金奨学生としてスコットランドに派遣して頂くことになりました。宜しくお願い申し上げます。グローバル補助金奨学生に選ばれてから多くのロータリアンの皆様、学友の皆様とお話をさせて頂き、非常に新鮮で興味深い内容が多く、刺激的な毎日を過ごすことが出来ていることに喜びを感じています。

私は岡山県津山市で生まれ育ちました。18歳までを岡山県で過ごし、その後は千葉で生活しておりますので36歳の現在、人生の半分が岡山で、もう半分が千葉で形成されています。私の故郷岡山県津山市は中国山脈に囲まれた自然の豊かな地域ですので、小さな頃は山でアケビを採って食べたり、田んぼを走り回って過ごしました。そのせいもあり、私の現在の趣味はキャンプで、虫が嫌いな妻と2人の娘を連れて、虫のいない寒い時期にキャンプに行きます。

私にとってロータリーは初めは単に慈善団体という程度の知識しかありませんでした。しかし、その活動内容を知るに従い、認識が変わっていきました。まずは医療者として印象深いのは、先日発表されたWHOのアフリカにおけるポリオ撲滅の宣言であります。このニュースを読んだ際に自分がロータリー財団のグローバル補助金奨学生であることを非常に誇らしく思いました。また、当たり前に見かけるそれぞれの地域で刻まれたクラブの文字。交通安全の標語に並んで、また駅の時計塔など、これだけ地域に当たり前でロータリーの名前があることは一朝一夕に出来ることではない、長きにわたる活動の為せることだと思います。私にはロータリーが世の為、人の為に世界の海を航行する一隻の船に見えました。

私は柏市の柏東 RC から推薦頂き、今回派遣していただきます。柏東 RC の皆様は初めて連絡を差し上げた時から、クラブでの面接など長

岡会長を中心に非常に気さくで笑顔の溢れるクラブでした。先日、例会にお邪魔した時とても楽しい雰囲気、皆様より、多くの温かい激励のお言葉を頂きました。これからは活動にも参加させて頂きたいと思っております。また派遣先のスコットランドの Dunoon にありますダヌーン RC は、渡航前よりいつでも連絡してとメールを頂き、現地でお会いするのを楽しみにしております。

私は現在、理学療法士として大学卒業後、病院で勤務しております。理学療法士はリハビリテーション専門職の1つで、私の専門は心臓、呼吸、集中治療における理学療法です。患者さんは集中治療室でリハビリテーションをするイメージを持っておられないのですが、今や集中治療の世界で早期からリハビリテーションをするのは当たり前になっています。そして、私は11月よりグラスゴー大学集中治療修士課程で学びます。グラスゴー大学は英国トップクラスのメディカルスクールと評価されています。世界中から多くの、異なった背景を持った医療者と多くの議論を通じて、医療を発展させることが私の目的です。医療は目的がはっきりしているようで、実は曖昧な行為です。出来る限り長く生命を維持することが目的なこともあれば、生命を維持しないことが目的なことすらあります。この多様化する医療のゴールを考える上で、多様性の中で学ぶことに意味があると考えています。そして、私は臨床の医療者がやるべきことは2つだと考えます。それは個々に適切な医療を提供することと根拠のある医療を確立することです。その為に多様性の中で学び、多くの医療者と協力出来る関係を構築し、将来の研究に活かすことを目標にしています。また、学友の一員として、少しでも船の動力になるべく、努めて参ります。



研究の力を世界に

2020-21 年度地区補助金奨学生

大口カロリーナ 南

推薦：野田ロータリークラブ

こんにちは、国際ロータリー第 2790 地区の 2020-21 年度地区補助金奨学生の大口カロリーナ南です。ここでは、私の自己紹介、興味がある分野の紹介、キャリアプラン、野田ロータリークラブについてお話しさせていただきます。

まず、私についてです。私は日本出身です。お母さんがパラグアイの日系人であるため、カロリーナという名前がついています。現在はカリフォルニア大学デイビス校でコンピュータサイエンス博士課程に在籍しています。趣味は音楽、競技プログラミング、言語学習です。音楽はクラシックや K-POP を聴くのも弾くのも好きです。競技プログラミングは、数学的な問題をプログラムを書くことによって解きその速さと正確さを競うもので、毎週開催されるコンテストに参加したり日々コンテストの練習をしたりしています。言語は、韓国語、スペイン語、ヒンディー語など幅広い学習を楽しんでいます。

次に、私の専門分野を紹介します。学部では経営工学を専攻していました。経営工学はコンピュータサイエンス、統計、経営の 3 つの分野が組み合わさったような学科で、「最適化」をキーワードに社会をよりよくする方法などを学びました。なかでも私はコンピュータサイエンスと統計の分野が好きだったので、卒業研究ではコンピュータの計算の速さと疲れなさを活用する強化学習という手法を用いた研究をしました。題名は「渋滞緩和及び環境負荷低減を考慮した道路交通信号機制御」で、試行錯誤を何度も繰り返して最も良い解を導き出す強化学習という手法で交通信号機を制御し、渋滞緩和と二酸化炭素排出量を最適化しました。大学院ではネットワークの研究室に所属しているので、ネットワークの分野で強化学習を含む機械学習を用いた研究を進めています。

大学院卒業後は、インドを含むアジア各国の

状況を改善するような仕事をしたいと考えています。その理由は、幼少期にインドに住んでいた経験です。インドでは読み書きができない大人が身近にいたり、定期的に追い出されてしまうスラムに住んでいて安定した生活が困難な人々がいたり、交通が混乱していて事故が頻発していたりしていました。このような状況に驚き、どうにか改善したいと思いました。そのために、まずは卒業研究で渋滞を減らす研究をしたり、野田市のボランティア活動に参加したりしました。大学院では 5G ネットワークなど最新の技術に関する研究をして、教育の分野や交通状況などに寄与したいと考えています。

最後に、私を地区奨学生として推薦してくださいました野田ロータリークラブを紹介します。野田ロータリークラブは毎週月曜日に例会を開いています。地域の相撲や釣りの大会を支援したり、ゴミ拾いや薬物乱用防止の活動をしたりしています。千葉県北部に位置する野田市は大豆が有名で、醤油や枝豆を楽しむことができます。野田ロータリークラブの皆様はとても友好的で、私を支援していただけないかとお手紙を書いた時から親切にいただいています。野田ロータリークラブをはじめロータリークラブの皆様には、このような機会をいただけたことに大変感謝をしております。

奨学生としてアメリカ留学を支援していただくことに感謝し、ロータリークラブの一員として学業に全力を注ぎつつ留学中も留学終了後もロータリークラブの活動に参加していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

世界インターアクト週間にちなんで

第 2790 地区 青少年奉仕・青少年育成委員会
インターアクト小委員会
委員長 小沢 恒夫
(茂原中央 RC)



日頃よりインターアクト（以下 IAC と略す）の活動にご理解とご支援を頂いている漆原ガバナーはじめ地区内各 RC の皆さまには心よりお礼申し上げます。

IAC は、12 歳から 18 歳までの青少年又は高校生のための社会奉仕組織として設立され、当地区内 14RC が提唱（スポンサークラブ）する 14 校の高校生が活動しています。

さて、RI は「RC と IAC を国際規模の活動に参加させること」を推進するため 11 月 5 日を含む月曜日から日曜日までの一週間を【世界インターアクト週間】と定めています。

今年度も 11 月に「第 33 回国外研修」を台湾にて開催することを計画していました。台湾は第 27 回国外研修よりお世話になっており、台北西門クラブとは以前から IAC 同士の友好関係を築いています。

昨年度の参加者からは「非常に有意義な研修となり国際理解や文化体験ができた!」そして、その内容を聞いた後輩 IAC 達から「台湾の IAC 達との交流がしたい」との要望が寄せられました。

しかし、今年はコロナ禍の影響により残念ながら国外研修は中止となり、地区内での活動をメインで進めています。今年の国外研修が IAC 最後の機会だった 3 年

生には、IAC 卒業生として、奉仕の精神と国際理解をテーマとし、未来も台湾と日本の親密な交流が発展していくように貢献して欲しいと思います。

新世代奉仕部門として存在している IAC ですが、今後 IAC から RAC へ、そして近い将来 RAC から RC へと繋がることを実現させるためにも、IAC の価値ある活動そして充実感・愉しさが重要です。各高等学校と提唱 RC 関係者の深い理解は勿論のこと、地区内 RC や地域社会・企業・自治体・行政など多くの方に IAC を知ってもらえるような広報活動を行うことが重要だと思います。

私も地区委員になる前は、IAC の活動などよくわかりませんでした。2 年間経験させてもらい IAC に対する RC の役割や目的が見えてきました。

しかしながら、今年に関しては行動規制が厳しい中で、IAC のメンバーとの関わりが出来ていないのが現状です。今後の予定として、2021 年 2 月 13 日（土）～ 14（日）に開催される RYLA リーダーシップセミナーに IAC を積極的に参加できるように支援を検討します。皆様には IAC の活動を通し、日本の未来を支える人材創りに今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

三地域合同オンラインセミナー報告

第 1 地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生 (柏 RC)



本年度から第 1 地域 ARPIC（ロータリー公共イメージコーディネーター補佐）を仰せ付かりました、第 2790 地区・柏 RC の寺嶋と申します。皆様には宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

過る 8 月 29 日、三地域合同の 2020-21 年度「公共イメージ向上オンラインセミナー」が開催されました。Zoom を利用しての合同セミナーは、初の試みとの事でございます。

当日は辰野克彦 RI 理事を始めとし、三地域の RPIC（ロータリー公共イメージコーディネーター）・ARPIC・ARC（ロータリーコーディネーター補佐）、及び、国内各地域のガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・公共イメージ向上を担当する各地区委員長など、総勢 86 名の参加を頂きました。

冒頭の辰野 RI 理事のご挨拶では、アフリカにおいてポリオが根絶された慶事が報告された一方で、そのマスコミ報道においてロータリーの果たした功績が触れられなかった事を指摘され、未だロータリーの公共イメージの向上が手法として不完全である事に対する反省の弁を述べられました。

次いでセッション 1 では、R3 山下皓三 RPIC が「公

共イメージの推進」と題し、公共イメージキャンペーンの実施・クラブの広報戦略・地域社会でのクラブのイメージの向上について問題提起をされました。

続くセッション 2 では、R1 井原実 RPIC が「ロータリーのブランド」と題し、ロータリーブランドの認知と一貫性の重要性、および、ロータリーブランドとクラブ活性化の相関について解説されました。

更にセッション 3 では、R2 服部陽子 RPIC が「ロータリーの公共イメージを築く」と題し、公共のロータリーへの理解を深める方法や、好ましいイメージを築く為の心得などについてレクチャーされました。

これらを受けた質疑と事例発表においては、2720 地区・早水琢也会員から災害時に出動するキッチンカーと支援物資の備蓄状況についてや、第 2530 地区・相良元章会員から広く購読されるメディアにロータリー情報を提供する QR コードを掲載する事業の実施状況など、各地区やクラブにおいても大いに参考となる具体的な事例が報告され、参加者には極めて有益なセミナーとなったものと思われま

「青少年育成に貢献し続ける松戸ロータリークラブ」



新型コロナウイルス感染症拡大により先が見えない状況で、当クラブにおいても、3月より活動が停止した日々が続きましたが、6月からオンライン併用の例会を再開しました。7月の新年度からは、全会員数62名を半分に分け、例会会場ではソーシャルディスタンスに配慮した参加、他半分はZOOM参加の例会を開催しています。

7月から約2ヶ月経ちますが、出席率が高く、通常のロータリー活動と変わらない状況になってきております。会場参加者とZOOM参加者を合わせた数字は、7月、8月平均出席率は、90%以上と会員のロータリー活動への意識や関心の高さを示しております。

7月から約2ヶ月経ちますが、出席率が高く、通常のロータリー活動と変わらない状況になってきております。会場参加者とZOOM参加者を合わせた数字は、7月、8月平均出席率は、90%以上と会員のロータリー活動への意識や関心の高さを示しております。

松戸ロータリークラブの活発な原動力となる、イメージの発信、広報の役割を果たしているものは、人であり会員自身と考えます。当クラブの会員年齢を見ますと、下が44歳から上は89歳まで幅広い構成の中でも非常に仲が良いところです。年齢や上下関係の隔たりが無く連携が取れているところ、おそらく皆がロータリアンであることを誇りに思っているところが、クラブ自慢の一つだと思います。

この会員一人ひとりのロータリーへの思いや会員相互の一体感が、松戸ロータリークラブの歴史と伝統を創り上げてきたのだと思います。

2022～23年度当地区ガバナーとして小倉純夫会員を輩出させていただき予定です。これは、松戸ロータリークラブにとっても大変名誉なことで、クラブがワンチームとなって小倉会員を支えていかなければならないと、会員一人ひとりが心に秘めているところです。

当クラブを代表する奉仕活動の一つをご紹介します。

「松戸ロータリークラブ文化・スポーツ大賞」は、松戸市内の中学校、高等学校における部活動を通じて、青少年が心身を鍛え、夢を育み実現することを支援し、郷土の誇りが醸成されることを目的として実施しています。全国大会に出場した部活動を対象に募集し、毎年20を超える応募があります。選考後優秀賞として3～5校、奨励賞として10校前後に、副賞として受賞校の希望する備品や用具を贈り、3月に表彰式を行います。

本来であれば今年度第5回目の開催となるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、対象となるアスリート達や各種文化部の練習や公式試合ができない状況となっており、来年に延期せざるを得ない状況となっております。

今年度小川会長率いる松戸ロータリークラブは、このコロナ禍を通じて、よりロータリーの本質を深く考え、工夫を重ねていくと思います。一人ひとりが力を蓄えて親睦と奉仕の輪を広げていくことを、また多くのロータリアンと交流していくことと信じて、結びとさせていただきます。

(公共イメージ委員会委員長 堀井 猛志)



第3回松戸RC文化・スポーツ大賞表彰式

「上を向いて歩こう」

時に情熱的に、時にそっと寄り添うように、音の連なりは私たちの頬を撫で、心をふるわせます。千葉クラブのバナーに描かれた海の波が、寄せては返し、優しく揺れているように見えます。夏の終わりの納涼例会、千葉県唯一のプロオーケストラである千葉交響楽団の弦楽四重奏の美しいメロディに静かに聴き入りながら、私たちは好意と友情を深めるひとときを過ごしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2年半ばから6月まで、例会は中止となっていました。毎週会って昼食をとるという「あたりまえ」が、いかに「尊く貴重な」日々であったことか！定期的に届く会長・幹事のメッセージを読み、ビデオメッセージを観て、メールのお知らせを開きながら、みんなに会って話をしたい、ロータリアンとしてしっかり活動したいという思いは、千葉クラブ一人ひとりの胸に、どんどん膨らみ続けたのです。検討を重ね、検温・消毒の徹底、食事中のマスク入れの用意、1テーブル4人掛けでの密回避、工業用扇風機での換気等の対策により万全を期すこと、同時にZOOMによるオンライン出席も可とすること、などを決めて、2020-21年度当初よりリアルとオンラインのハイブリッドな例会を開催しています。ピアノ演奏に合わせ、マスクを付けたままロータリーソングを歌う時、クラブの一体感を今まで以上に感じる私たちがいます。

千葉クラブは1951年設立の地区最古最大のクラブで、多岐にわたる職業分類、強固な会員相互のネットワークが特徴です。近年では2015-16年度に櫻木ガバナーを輩出し、各委員会はますます積極的に活動計画に則った活動を行うようになりました。親子三代夏祭り、ミニ

バスケットボールクリニックなどのイベントや、例会休会中にもフードバンクちばの支援、ひとり親支援、コロナ禍対策緊急支援として医療従事者へ防護服を提供するなど、必要な時に必要な奉仕活動をすぐに行うチームワークが持ち味です。会員増強にも熱心で現在105名(9/20現在)、5年前比で約160%です。新しい



仲間が増えることは、「機会の扉を開く」ことに繋がります。現在の戦略計画の目標の一つは、「2025年に会員数150人を目指す」。女性会員もさらに増やし、社会を映す鏡のように、多様性を尊重するクラブであり続けたいと考えています。

今年度は70周年、次年度は梶原ガバナーを輩出し、大いに盛り上がる千葉ロータリークラブ。「上を向いて歩こう」は、ご存じ、坂本九さんの名曲です。楽団の皆さんが演奏してくださったこの曲は、あの夜、私たちへの大きなエールとなりました。不確実な社会情勢だからこそ、地域社会の中で幅広い奉仕活動に取り組み、世界に向けて活動し続けよう。他クラブともさまざまな意見を交わしながら、一步一步、あゆみを進めていきたいと思えます。

※ 千葉交響楽団の演奏にご興味がありましたら、ぜひ千葉クラブへお問合せください。

(IT広報公共イメージ委員長 境麻千子)



寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



寺嶋 哲生
(柏 RC)



木村 仁
(柏 RC)



上代 修二
(八千代 RC)



遠藤 章雄
(八千代 RC)



平澤 規雄
(習志野中央 RC)



吉田 裕成
(千葉南 RC)
13 回目



野村 進一
(上総 RC)
8 回目



日暮 肇
(柏西 RC)
8 回目



鈴木 桂三
(柏西 RC)
8 回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



飯合 幸夫
(柏西 RC)
8 回目



榎 隆夫
(柏西 RC)
8 回目



皆川 隆
(鎌ヶ谷 RC)
7 回目



武田 勲
(市原中央 RC)
7 回目



福田 良博
(八千代 RC)
7 回目



佐野 忠信
(八千代 RC)
6 回目



安藤 徹
(船橋西 RC)
4 回目



佐藤 正直
(四街道 RC)
4 回目



根本 泉
(市原中央 RC)
3 回目



大塚 榮一
(八日市場 RC)
3 回目



井上 英博
(柏 RC)
3 回目



小石 裕久
(船橋西 RC)
2 回目



宇津木 三雄
(市原中央 RC)
2 回目



畔高 弘樹
(柏 RC)
2 回目



川村 由里子
(柏 RC)
2 回目



高橋 久子
(船橋西 RC)
1 回目



張ヶ谷 政喜
(柏 RC)
1 回目



杉原 浩
(柏 RC)
1 回目



板津 守
(柏 RC)
1 回目



勝田 秀一
(柏 RC)
1 回目

新ポール・ハリス・フェロー

使途指定寄付



菅原 光江
(船橋西 RC)



赤澤 洋一
(柏 RC)



小倉 宏庸
(柏 RC)



大田 英紀
(柏 RC)



白水 志治
(柏西 RC)



孟 森
(四街道 RC)



大倉 崇
(市原中央 RC)
恒久基金冠名基金

米山功労者



森島 庸吉
(船橋西 RC)
124 回目



白鳥 政孝
(市原 RC)
23 回目



高木 恒雄
(船橋西 RC)
23 回目



藤井 毅
(佐倉 RC)
15 回目



清宮 建治
(大網 RC)
14 回目



平澤 規雄
(習志野中央 RC)
12 回目



野村 進一
(上総 RC)
10 回目



廣田 二郎
(君津 RC)
10 回目



遠藤 章雄
(八千代 RC)
10 回目



佐野 忠信
(八千代 RC)
9 回目



板倉 達夫
(大網 RC)
8 回目



宮野 宗雄
(八千代 RC)
8 回目



小石 裕久
(船橋西 RC)
7 回目



嘉規 洋
(船橋西 RC)
4 回目



鈴木 荘一
(君津 RC)
4 回目



大島 剛
(千葉幕張 RC)
3 回目



三井 啓久
(八千代 RC)
3 回目



前田 昌男
(船橋西 RC)
2 回目



武本 浩基
(船橋西 RC)
2 回目



吉野 和弘
(君津 RC)
2 回目



石田 英世
(大網 RC)
2 回目



田中 英子
(銚子 RC)
2 回目



高橋 久子
(船橋西 RC)
1 回目



松田 和哲
(四街道 RC)
1 回目



高橋 繁
(松戸西 RC)
1 回目

新ロータリアン (敬称略)



檀山 敦
(小見川 RC)
土地家屋調査
7 月 1 日入会



岡田 真紀
(市川 RC)
地方銀行
7 月 9 日入会



勝又 剛
(鎌ヶ谷 RC)
造園業
9 月 3 日入会



野本 正治
(鎌ヶ谷 RC)
土木工事
9 月 3 日入会



武藤 友和
(松戸東 RC)
社会保険労務士
9 月 4 日入会



海老原 正志
(千葉幕張 RC)
ダンススクール
9 月 8 日入会



間々田 英俊
(千葉南 RC)
ホテル
9 月 11 日入会



仲村 佳奈子
(成田 RC)
印刷
9 月 25 日入会



吉田 稔
(成田 RC)
空港地上サービス
10 月 2 日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2020 年 9 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	3	42	4	43	5	1
	市川東	100.00	4	39	2	38	1	△1
	市川南	90.00	2	23	2	23	2	0
	浦安	80.40	3	43	2	43	2	0
	市川シビック	80.10	3	33	0	32	0	△1
	浦安ベイ	92.85	3	13	2	14	2	1
	平均	90.56	3.00	32.17	2.00	32.17	2.00	0
第2グループ	船橋	83.03	4	30	0	31	1	1
	船橋西	79.81	4	28	5	27	5	△1
	鎌ヶ谷	87.63	4	26	1	28	1	2
	船橋東	86.15	4	27	2	27	2	0
	船橋南	91.30	4	13	2	13	2	0
	船橋みなと	81.62	3	14	2	15	2	1
	平均	84.92	3.83	23.00	2.00	23.50	2.17	3
第3グループ	千葉葉	87.75	3	98	5	105	6	7
	新千葉	100.00	4	53	0	57	0	4
	千葉西	80.41	3	51	5	53	5	2
	千葉中央	95.92	2	26	0	27	1	1
	千葉幕張	65.04	4	37	4	38	4	1
	千葉東	69.59	2	23	1	24	1	1
	千葉若潮	66.67	3	31	1	31	1	0
		平均	80.77	3.00	45.57	2.29	47.86	2.57
第4グループ	千葉南	60.83	3	51	5	49	5	△2
	市原港	49.52	2	59	5	62	6	3
	千葉港	67.27	2	25	3	26	3	1
	市原中央	80.69	3	45	1	45	1	0
	千葉北	68.32	4	30	4	30	4	0
	千葉緑	84.09	2	23	2	23	2	0
	平均	68.45	2.67	38.83	3.33	39.17	3.50	2
第5グループ	木更津	89.30	3	24	3	28	3	4
	上総	61.82	4	15	0	14	0	△1
	富津中央	65.67	5	36	5	36	5	0
	木更津東	71.53	4	43	7	44	7	1
	君津	71.24	3	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	94.44	3	26	4	27	4	1
	富津シティ	83.27	4	12	1	13	1	1
	平均	76.75	3.71	30.43	3.57	31.43	3.57	7
第6グループ	館山	73.50	2	49	4	49	4	0
	鴨川	85.68	4	33	5	32	5	△1
	勝浦	93.75	3	42	5	40	5	△2
	千倉	75.00	3	4	2	4	2	0
	鋸倉	76.92	2	13	2	13	2	0
	館山ベイ	0.00	0	24	0	24	0	0
		平均	67.48	2.33	27.50	3.00	27.00	3.00
第7グループ	茂原	80.76	2	57	5	57	5	0
	東金	90.12	3	18	2	20	3	2
	大原	100.00	3	10	1	10	1	0
	大多喜	83.33	3	6	1	8	1	2
	成田空港南	70.81	3	29	0	28	0	△1
	茂原中央	88.54	4	20	2	24	3	4
	大網	77.78	3	30	2	30	2	0
東金ビュー	76.92	1	13	1	13	1	0	
	平均	83.53	2.75	22.88	1.75	23.75	2.00	7

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	82.09	5	38	4	38	4	0
	旭	72.90	4	39	4	39	4	0
	八日市場	71.46	3	39	3	39	3	0
	銚子東	69.93	4	30	2	31	2	1
	平均	74.10	4.00	36.50	3.25	36.75	3.25	1
第9グループ	佐原	66.67	3	46	0	45	0	△1
	多古	87.50	3	19	0	18	0	△1
	小見川	81.54	3	26	0	27	0	1
	佐原香取	89.99	2	20	0	20	0	0
	平均	81.43	2.75	27.75	0.00	27.50	0.00	△1
第10グループ	成田	75.02	3	64	4	63	5	△1
	八街	88.78	3	29	3	30	3	1
	印西	76.22	4	14	1	14	1	0
	白井	74.99	3	11	1	12	1	1
	富里	56.77	4	33	1	34	1	1
	成田コスモポリタン	59.57	5	71	0	72	0	1
	平均	71.89	3.67	37.00	1.67	37.50	1.83	3
第11グループ	柏	57.45	4	64	8	64	8	0
	我孫子	78.12	4	32	3	32	3	0
	柏西	84.02	4	58	3	61	3	3
	柏東	72.72	2	34	5	35	5	1
	柏南	77.14	2	39	9	39	9	0
	平均	73.89	3.20	45.40	5.60	46.20	5.60	4
第12グループ	習志野	70.73	5	31	1	32	1	1
	八千代	93.36	4	54	0	54	0	0
	佐倉	70.14	4	36	2	35	2	△1
	八千代中央	71.90	3	26	1	26	1	0
	四街道	66.97	4	27	4	28	4	1
	習志野中央	63.91	4	45	5	47	5	2
	佐倉中央	69.57	1	23	6	23	6	0
	平均	72.37	3.57	34.57	2.71	35.00	2.71	3
第13グループ	松戸	100.00	4	60	0	62	0	2
	松戸東	95.21	4	44	0	46	0	2
	松戸北	72.27	4	33	0	33	0	0
	松戸中央	65.00	4	37	7	38	7	1
	松戸西	85.71	3	27	0	28	1	1
		平均	83.64	3.80	40.20	1.40	41.40	1.60
第14グループ	野田	100.00	1	55	6	56	6	1
	流山	72.54	3	16	3	17	3	1
	野田東	81.48	3	18	0	18	0	0
	流山中央	62.75	4	20	1	20	1	0
	野田セントラル	87.50	4	24	1	24	1	0
	平均	80.85	3.00	26.60	2.20	27.00	2.20	2

クラブ数 82RC		
2020 年 7 月 1 日	地区会員数	2,726 人
2020 年 9 月 末日	地区会員数	2,776 人
2020 年 7 月 1 日	地区女性会員数	205 人
2020 年 9 月 末日	地区女性会員数	213 人
当月平均出席率		77.88%
増減		50
女性会員増減		8

ロータリーレートのご案内

↓地区HP

ロータリーレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。



ガバナーノミニー・デジグネート (2023-24年度ガバナー) が決定しました。



国際ロータリー第2790地区
ガバナーノミニー・デジグネート

鷗沢 和広 (千葉若潮RC)

生年月日 1957年(昭和32年)4月3日生
所属クラブ 千葉若潮ロータリークラブ
最終学歴 横浜国立大学経営学部経営学科卒業
職業分類 開発計画
事業所 鷗沢建設株式会社

【ロータリー歴】

1999年 千葉若潮ロータリークラブ入会
2007-08年度 クラブ幹事
2010-11年度 クラブ会長
2014-15年度 地区フェロウシップ委員会副委員長
2015-16年度 地区青少年奉仕委員会統括委員長
2018-19年度 地区奉仕プロジェクト委員会
職業奉仕委員長
2019-20年度 第3グループガバナー補佐

【認証】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (3回目)
ポール・ハリス・ソサエティメンバー
ベネファクター
米山功労者 (1回)

国際大会のご案内

エネルギーッシュな台北を楽しもう

今年度2020-21年度の国際ロータリー国際大会が2021年6月12日～16日に台湾の台北で開催されます。国際大会の主な目的は、国際レベルにおいてロータリアンを鼓舞し、啓発することです。毎年、世界中から数万人ものロータリアンが一同に会し、Rotaryがあらためて『世界のRotary』であることを感じることができます。

台湾は、日本から4時間ほどで行くことができる“美食でエネルギーッシュな国”です。国際大会と共に台湾を満喫しましょう。そして、国際大会開会式の夜の6月13日、台湾5つ星ホテルのホテル ロイヤルニッコー・タイペイにて恒例の「千葉ナイト」を開催いたします。台湾の美味しい郷土料理とアトラクションを十分楽しんで頂けるよう準備を進めておりますので、どうぞご期待下さい。

国際大会への登録がお済みでない方は 国際ロータリーのウェブサイトですら簡単に登録できます。早い時期に登録すると登録料が安くなりますので早めの登録をおすすめします。

台北国際大会が、皆様にとって一生の楽しい思い出になることを確信しております。

第2790地区のロータリアンの皆様、お誘いあわせの上、国際大会に参加して、共に素晴らしい機会の扉を開いていきましょう！！

大会スケジュール

期間：2021年6月12日～16日 開会式：6月13日(日)

※ 国際大会の各種イベントへの登録、往復航空券や宿泊等の手配につきましては、各自(各クラブ)でお願いします。



←大会登録

千葉ナイトの案内

日時：2021年6月13日(日) 18:30 または 19:00 開会予定

会場：ホテルロイヤルニッコー・タイペイ (台北老爺大酒店)

<http://www.royal-taipei.com.tw/jp/index.php>



←千葉ナイト会場

千葉ナイト登録申し込み方法

※ 後日、クラブオールおよび第2790地区ホームページにて、あらためてご案内させていただきますので今しばらくお待ちください。



ポリオ根絶にこの一枚！



わずか2万円の決済をするだけで、 一人の乳幼児をポリオ感染から救うことができます！

ロータリーポリオプラス・ロータリーカード小委員会
委員長 朱 孝
(習志野 RC)

去る8月25日、アフリカ大陸でポリオが根絶されたという嬉しいニュースが飛び込んでまいりました。

これにより、常在国はパキスタン、アフガニスタンの2カ国のみとなり、いよいよ『根絶まであと少し』が現実味を帯びてきたように思われます。

根絶を達成するためには、全世界においてワクチン接種率100%を達成しなければなりません。現在コロナ禍の影響で接種率が低下していることが懸念されています。

1985年から始まったポリオプラスプログラムは、根絶が達成されるまでRIの最優先プログラムとなっており、ロータリアンである以上、ポリオ根絶活動への貢献は責務であるとも言えます。プログラム開始からの寄付総額は15億ドルにも上っております。

そして2013年から続いているビル&メリンダゲイツ財団とのマッチングは2020年からの3年間についても継続されることが決定しております。

(上限RI 5,000万ドルに対してその2倍)

では、どのようにして私たちは日頃から貢献すればよいのでしょうか。

その最も身近な方法が『ロータリーカード』の作成と活用です。

あらためてその仕組みを申し上げますと、決済額の0.3% (一部カードは0.5%) がカード会社負担でポリオ根絶の活動資金に充てられることになっております。ちなみにポリオの生ワクチン1回の費用は約60円です。

冒頭に申し上げた通り、わずか20,000円の決済をロータリーカードで行うだけで、自動的に接種が必要とされている乳幼児に現地に出向かなくともワクチンを届けることができるのです。昨年1年間日本全体では、約1,000万円がカード会社より根絶活動資金に充当されました。

しかしながら、年会費無料の『オリコロータリーカード』は近年新規加入者が減っており、昨年度は全国でわずか170件に過ぎず当地区に至っては累計加入者が70名程に過ぎないのが現状です。

一方、2018年から地区、地区委員会、クラブ用の『ロータリーダイナースカード』の作成をお願いした結果、お陰様をもちましてクラブカード作成率は全国1位となっております。引き続きポリオ根絶活動にご理解頂き、更なる作成をお願いいたします。

『オリコロータリーカード』につきましては、現在全てパソコン、スマートフォンからの申し込みとなっており、スマホの場合は、下記のQRコードを読みこんでいただくと、申込み画面に入れますので、この場で是非お試しください。

ロータリーカードは、胸のロータリーバッジと同じか、あるいはそれ以上の価値があります！

ロータリー活動のパートナーとして是非この一枚をお手元に！



『オリコロータリーカード申し込みはこちらから』